
恐怖のコインロッカー

零那

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

恐怖のコインロッカー

【Nコード】

N9756F

【作者名】

澤那

【あらすじ】

ある夫婦が自分の子供に呪われた!?

(前書き)

心臓の弱い方及び怖い話が苦手な方は読まないでください

これは本当にあった都市伝説のチェンメです
大分県にある別府市であった話です

別府駅にあるコインロッカーにある夫婦が生まれたばかりの赤ちゃんを入れ鍵を掛けました

それからというもののその夫婦は毎日捨てた赤ちゃんの夢を見てうなされるようになりました

そしてその赤ちゃんは夢の中で必ず

「何で私を捨てたの？ねえ何で？」

と言うのです

夢にうなされその夫婦はついにつづ病になってしまいある事を決意しました

そのある事とは赤ちゃんを捨てたあのコインロッカーへ行く事

うなされるようになって半年が過ぎた時に夫婦はコインロッカーへ

行って赤ちゃんを入れたロッカーの鍵を開け中をみてみました

あろうことか赤ちゃんはどこにもいません

夫婦はその場に座り込んでしまいました

するとコインロッカーの影から2歳くらいの小さな女の子が立っています

その夫婦は覚悟を決め聞いてみました

「あなたお父さんやお母さんはどこ？」

するとその女の子は静かに口を開き

「お前らだー！」

と指を差し大声で言いました

それから夫婦は姿を消しどこにいるか誰も知りません

別府駅のコインロッカーには今もまだ女の子の幽霊が出ると言われ

ています

このチェンメを貰った人は自分に送って来た人以外の5人以上に今日中に送ってください

もし5人以上に送らなかった人は必ずその女の子に呪われます
一度呪われるとどんなお祓いをしてでも呪いが解けることはないでしょう・・・

――――

～あとがきに変えて～

最後まで読んでくれてありがとう。＋。（＊、▽、）。＋。

この恐怖のコインロッカーという都市伝説は昔本当にあった話なんです

その後あの夫婦が行方不明になり警察まで動いていましたが発見された頃にはもうこの世にはいませんでした

噂ではあの女の子に呪われたまま息を引き取ったそうです・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9756f/>

恐怖のコインロッカー

2010年12月14日17時46分発行